

目次

1. トリスタン高周波加速装置の全体像	VI-1
1.1 クライストロンユニット	VI-1
1.2 クライストロン電源	VI-2
1.3 サーキュレーターおよび導波管	VI-3
1.4 常伝導加速空洞	VI-4
1.5 超伝導加速空洞	VI-4
1.6 基準信号	VI-4
2. ローレベル系	VI-5
2.1 ALC 回路	VI-5
2.2 PLL 回路	VI-5
2.3 空洞同調ループ回路	VI-6
2.4 クライストロンビーム電流コントロール回路	VI-7
2.5 インタロックシステム	VI-7
3. クライストロン電源の制御方法	VI-7
3.1 制御電源 ON/OFF	VI-7
3.2 LV ON/OFF	VI-8
3.3 HV ON/OFF	VI-8
3.4 トランスタップ切り換え	VI-8
3.5 IVR コントロール	VI-8
4. RF 制御方法	VI-8
4.1 RF スイッチ ON/OFF/RESET	VI-8
4.2 ALC ループ制御	VI-8
4.3 PLL ループ制御	VI-9
4.4 空洞同調ループ制御	VI-9
4.5 各部のモニター	VI-9
5. CAMAC インタフェース	VI-9
5.1 SOR (Status Output Register)	VI-10
5.2 PTG (Pulse Train Generator)	VI-10
5.3 SIG (Status Input Gate)	VI-10
5.4 SAD (Sample / hold scanning A / D converter)	
DAD (Dual slope integration scanning A / D converter)	VI-10
5.5 その他のモジュール	VI-10

6. 計算機とネットワーク	VI-10
7. 運転時のオペレーション	VI-12
7.1 リング全体の加速電圧 (Total Vc) の設定	VI-12
7.2 復帰操作	VI-12
7.3 運転テーブルの設定	VI-12
7.4 加速電圧パターン作成	VI-12
7.5 加速周波数設定	VI-12
7.6 ステーション間の RF 位相の設定	VI-13
7.7 空洞同調位相の設定	VI-13
8. Micro VAX からのオペレーション	VI-13
8.1 立ち上げ調整および空洞コンディショニング	VI-13
8.2 RF ステータスマニター	VI-13
8.3 データロギング	VI-13
9. 新しいタイプの加速空洞 (ダンプトキャビティ)	VI-14
9.1 ダンプトキャビティとは	VI-14
9.2 ワイランドタイプダンプトキャビティ	VI-14
9.3 パーマータイプダンプトキャビティ	VI-15
9.4 ダンプトキャビティの最適化	VI-15
9.5 各研究所の開発状況	VI-15
参考文献	VI-17